

収録日：2025 年 3 月 28 日

直滑降ストリーム特別企画「県議と知事の紅茶懇談」は、群馬県議会議員をお招きし、親しみやすく身近なテーマでお話をするシリーズです。

それぞれの県議の人柄や趣味の話など、幅広く話をしています。議会でのやりとりだけではなかなか見えない部分も、お伝えできると考えています。

第4回目のゲストは、つる舞うの金沢充隆県議です。番組では、少年時代の野球チームの話や、バックパッカーとしてアジアを巡った話、ご出身である藤岡市の魅力などを伺いました。金沢県議の誠実なお人柄が伝わる内容になっています。



第4回 金沢 充隆 県議（つる舞う）

山本一太群馬県知事（以下、知事）
直滑降ストリーム「県議と知事の紅茶懇談」をお届けします。群馬県議会の県議の皆さんがどんな人なんだろうと、あまりイメージが湧かないという声が寄せられているので、この番組で、その“人となり”を紐解いていこうと考えています。県議の方の人間性や趣味といったことを発信したいと思っています。

今日は4回目のゲストとして、金沢充隆県議にお越しいただきました。よろしくお願いします。

金沢充隆県議（以下、県議）
よろしくお願いします。

🍷プロフィール

知事 まず、金沢県議のプロフィールからご紹介したいと思います。選挙区は藤岡市・多野郡、所属会派はつる舞う、当選回数は2回です。

🍷生い立ち

知事 生まれは藤岡市ということですが、どのような子ども時代を過ごしたのでしょうか。

県議 父親が大工さんで、小さな工務店を営んでおり、出入りしている職人さんや業者さんにかわいがられながら育ちました。

藤岡市の中でも農村地域の方なので、神社に集まったり山に行ったり、友達とワイワイ遊びながら過ごしました。ちょうど私が小学校に入ったくらいの時に、ファミリーコンピュータが発売されたので、友達の家を集まってファミコンをやることもあり、小学校のときは毎日遊んで過ごしていました。

知事 群馬の自然の中でのびのび育ったということなんですね。野球をやっておられたということ。

県議 小学3年生の時に地元の少年野球チームに入り、小学校・中学校で野球をやりました。仲間とワイワイ楽しみながらやっていましたね。私は左利きで、サウスポーだと守れるポジションがファーストか外野なので、主にファーストをやっていました。

知事 そのあと、地元の高校に行かれて、大学に行かれたのですか。

県議 はい。大学では法学部政治学科でしたが、サークル活動が印象に残っています。オールラウンドサークルで、楽しいことは何でもやるというサークルでした。夏はキャンプに行ったり、冬はスノーボードに行ったりとか。サッカーとか、バドミントンとか、楽しいことは何でもやっていました。

知事 そこから金沢さんが政治の道を志していくわけですけど、その前に秘書をされていたということでしょうか。

県議 そうです。元々は大学生の時に国会議員の事務所でインターンを経験したのが最初のきっかけですね。そこで政治の世界に入りました。卒業して少しだけ会社員もやったんですけどね。

知事 どんなところで会社員をされていたのですか。

県議 小さな商社というか、何でも販売している会社でした。営業マンをやっていたんですが、やっぱり政治の道に進みたいなと思い、それで秘書になったんです。

知事 行動力がありますよね。政治の道に入りたいと思っても、なかなかポンって秘書になれない。

県議 インターン時代のご縁があったので。高校時代から何となく政治の道に進みたいという思いがありましたが、家族に政治家がいるわけではないので、秘書になって、一から政治の勉強をしようと思いました。

知事 政治の道に行きたいと思わせたエピソードはありますか。

県議 藤岡はすごく恵まれたところで、伸びる可能性があるんですが、地元のひとと話していると「何となく藤岡はパツとしないよね」といった声を聞くことが多かったんです。

そこで、自分の街をもっとポジティブに語れるように、政治の道に入って実現していきたいという気持ちがありました。

知事 どれくらいの期間秘書をされたのですか。

県議 足掛け8年ほどで、国政と地方政治を経験しました。

知事 その後、市長選に出られたと思います。

県議 そうですね。一度群馬を出て、埼玉で秘書をしていましたが、いずれは地元の藤岡市に戻って政治に携わりたいという思いがあったので、選挙に挑戦しました。

知事 最初の選挙は残念ながら落選だったということですが、それでも政治の道が続けようと思ったんですね。

県議 自分は2回、市長選の落選を経験したのですが、それで諦めるというよりは、政治活動をして

いく中で、色々な思いを持つ人と会うことが増えてきて、この思いを無駄にしていけないなという思いが強くなってきました。周囲には随分迷惑をかけましたけれど、諦めずにチャレンジをして、県議会議員に当選させていただきました。

知事 2回市長選に挑戦し、落選されて、それでも諦めずに政治家への志を貫いたというのはすごいなと思いました。それを後押ししたのは、政治活動する中で知り合ってきた人たちの期待ということですか。

県議 それを絶対無駄にしていけないという思いがありました。活動していくと、政治の力を必要とする方たちにたくさん会いました。少しでも、そうした方の力になりたいという思いがあります。

知事 苦勞して選挙を戦って、その時に作った人脈というか、熱烈的なファンのような人が多いですよ。

県議 ありがたいです。2回も落選しても、それでも離れずに、当選するまで応援するからな、という方が本当に大勢いて、こういう人たちに支えられているというのは本当に感じました。

趣味

知事 趣味とか、仕事をしていないときはこれを行っている、というものがあれば、教えてください。

県議 野球をやっていたので、観戦するのもすごく好きです。プロ野球の試合も観に行きますが、特

に高校野球が大好きで、以前は毎年夏に甲子園に行っていました。1日中ずっと甲子園の試合を観ているというくらい、高校野球が大好きです。1試合1試合が真剣勝負、全力プレーでドラマも起きやすいですね。

知事 高校生って試合ごとにどんどん強くなりますよね。進化していくというか。

県議 どんどん試合を重ねて強くなって、強豪校を打ち破るみたいなドラマが起きると、本当に感動します。

知事 他にハマっていることはありますか。

県議 旅行も好きで、知らない土地で特に目的もなくぶらぶらするのが結構好きです。

大学卒業してすぐに、いわゆるバックパッカーで、東南アジアとインド、6か国を3か月くらい、ぐるぐると当てもなく回っていました。今はまとまった時間が取れないのですが、時間が取れば色々なところに行きたいです。

知事 一番印象に残った国や場所があれば教えてください。

県議 いくつかありますが、一番印象に残ったのはインドですね。そもそもバックパッカーで海外に行ったのも、ガンジス川を見たいという理由でした。

亡くなった方の遺灰をガンジス川に戻すという世界観がすごいというか。何日間かガンジス川のほとりでぼーっとあのシーンを眺めていた記憶があります。

知事 好きな歌手が長渕剛やブルーハーツということで。

県議 長渕剛さんとブルーハーツは学生時代から本当に好きで、特に長渕剛さんの歌は、中学校から大学にかけて毎日聴いていたんじゃないかなっていうくらい好きですね。ブルーハーツも長渕さんも、反骨心やハングリー精神みたいな、自分が失いかけているメッセージを強く表現されているので、自分を奮い立たせる時には今でもよく聴きます。

知事 漫画も好きなんですね。

県議 「ドラゴンボール」、「スラムダンク」、「ろくでなしブルース」とかが好きです。クラスの話から取り残されないように、もう必死に読んでいました。特に「ドラゴンボール」や「スラムダンク」は大人になってからも時々読み返しますね。

知事 「ドラゴンボール」は定番の大ヒット作品で、私も全巻持っていて、何回も読んだし、アニメも観ました。「ろくでなしブルース」が好きだっていうのが嬉しいですね。名作ですね。

県議 あれは面白いですよ。

県議としてやりたいこと

知事 県議でいるうちにこれだけはやりたいていうものをお聞きできればと思います。

県議 議員をやる中で特に意識しているのは、選択肢のある社会、諦めなくていい社会を作りたいということです。生まれた環境は個人の力じゃどうにもできないじゃないですか。だから、どんな環境であっても、自分が選択したいときにしっかり選択できる、自

己責任じゃないところで何かを諦めなくちゃいけないことがないようにしたいです。例えば、障害をお持ちだとか、親の介護が大変とかで、自分の夢を諦めちゃうような社会は作りたくないという思いがあって。どんな人にでもチャンスや選択肢があり、諦めなくていい社会を作っていきたいというのが、議員活動をする中で大きなテーマです。

知事 そういう意味でいうと、群馬県が今取り組んでいるデジタルクリエイティブ教育もそういう思いがあります。「tsukurun」という施設は、ゲームやプログラミング、アニメを作りたいとか、映画のプロデューサーになりたいとか、色々な夢を持った子どもたちが来て、そこに最先端のソフトがあって、どんどん勉強して…という場所です。一番のポイントは、群馬県在住・在学の小中高生は誰でも無料であるということです。金沢さんがおっしゃったように、親の収入や家庭環境などで子どもたちのチャンスに差があってはいけないと思うんですよ。

県議 どんな人にでもチャンスがあるし、興味を持ったらそこにトライできるっていう環境は素晴らしいと思います。できるだけ後押しはしていきたいですし、本当に多くの人に触れてもらいたいと思いますよね。

知事 今後、藤岡や群馬県をどんな風にしたいですか。

県議 色々なことにチャレンジできる地域にしていきたいと思っています。群馬や藤岡に来れば、

色々なチャンスがあって、トライできて、失敗するかもしれないけれども、それをみんなで後押ししていけるという環境を作りたいなと思っています。

知事 先日、藤岡のいちご農家のところにも行ってきましたが、「やよいひめ」を作っていて、頑張っていますよね。

県議 ベテランの方も頑張っていますし、親を継いで取り組んでいる若い方もいらっしゃるし、外から入ってきて就農する方もいらっしゃる。県でも「やよいひめ」のPRに力を入れてもらっていて、自分も挑戦しようっていうことで若い人たちが藤岡に入ってきている。これは本当に心強いなと思っていますし、藤岡市は「やよいひめ」の一大生産地なので、とにかく群馬の「やよいひめ」を藤岡市から盛り上げていくということで、私もお手伝いしたいと思っています。

群馬県の魅力

知事 金沢さんから見た群馬の魅力は何でしょう。

県議 自然も豊かで温泉もあるし、東京との距離も近いし、災害も少ない。おいしい農畜産物がたくさんあって、本当に魅力があると思います。藤岡も「やよいひめ」の一大生産地で、もっと群馬を売り出していくために、かなり強い武器になると思っていますので、その魅力をもっと発信していきたいと思っています。

知事 東京に近いのに、こんなに自然があって住みやすく農畜

産物がおいしいこともあって、しかも物価も安い。子育て施策でも、高校生までの医療費無料化で手厚く実施しています。

群馬県人の県民性って、ちょっとおせっかいだけど親切で、例えば金沢さんみたいに色々挫折したりしても、頑張っているとみんなが盛り上げてくれるみたいなのところってありますよね。

県議 それはあると思います。特に義理人情に厚い。頑張っている人を応援するムードがすごくありますよね。私も若い時に選挙にチャレンジして、もちろん色々な批判もありましたが、それでも若い人が頑張ろうとしているんだから応援してやろうっていうような、義理人情に厚い人が多いですよ。おせっかいというのがまだ残っている地域だと思うので、これがなくなってしまうと取り戻すのが大変なので、この県民性を大切にしたいなと思っています。

知事 あとは温泉ももっとアピールしたい。温泉の効能というか、素晴らしさみたいなものもPRしていきたいと思っています。こんなに近くに温泉がたくさんあるところは中々ないので、非常に恵まれた環境だと思いますよね。

他に何か言っておきたいことはありますか。

県議 群馬県って本当に良いところが多いですし、移住地ランキングトップになるなど、グッと存在感が上がっているところだと思うので、ぜひ、群馬に皆さん注目してもらいたいと思います。私の地元の多野藤岡も、温泉はあま

りないかもしれませんが、キャンプができるようなアウトドア環境が整っています。ぜひ皆さんに訪れてもらいたいなと思います。
知事 多野藤岡地域は良いですよ。鬼石祭りもぜひ注目してもらいたい。車がワーンと駆け上がる…。

県議 町内ごとの5台の大きな山車があって、新田坂っていう坂をバーっと駆け上がっていくのが最大のクライマックスです。それが終わった後は、最後にお祭り広場に集まって山車の共演をするのですが、一人でも多くの方に足を運んで見てもらいたい、藤岡市が誇るお祭りだと思います。

群馬県の魅力 30秒PR

知事 最後に30秒で群馬の魅力を語っていただきたいです。

県議 先ほど申し上げましたが、温泉があったり、自然が豊かだったりおいしい農畜産物がたくさんあります。何といっても、群馬県のブランドいちご「やよいひめ」、これは本当においしいです。粒が大きくて、甘さと酸味のバランスも優れている。一度口にしたら、絶対ファンが増えるいちごですので、多くの人にご賞味いただきたいと思っています。

知事 ありがとうございます。これからも力を合わせて群馬県を良くできればと思います。本日はありがとうございました。

県議 貴重な機会をありがとうございました。